

## 事務事業評価表

## ○基礎情報

課名		社会教育課小和田公民館	作成責任者
施策目標	5	自分を見つめ、地域を見つめる社会教育と文化財保護を推進する	浅井 志子

常勤職員		常勤職員以外			総従事者
管理職	左記以外	再任用短時間	会計年度任用職員	派遣職員	総人工
1 人	1 人	1 人	8 人	0 人	6.08 人

時間外勤務時間	
総時間	一人あたり月平均
0 時間	0.0 時間

## 1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の 現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H30年度	R元年度	R2年度
社会教育事業・イベントの参加者数	48,282人	50,000人	49,636人	37,220人	306人
文化財の指定件数	43件	49件			
0	0.0%	0			

(施策のねらい)

1	家庭教育・幼児期の教育の支援
2	地域の教育力の向上
3	効果的な社会教育の推進
4	地域の学習拠点としての公民館の充実
5	文化財の保護・活用
6	0

(評価の見方) **S** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった

### C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める

## 2 未着手事業(計画していたが未実施に終わった)

**A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった**

**D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない**

**実績なし** 事業実施の体制は整えていたが、実績が

**B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める**

## E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない

かつた(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

## 2 政策的事業の実績(令和2年度)

事務事業の取組結果と成果（効果）（Plan / Do）											Check		Action	
No.	事務事業 （第4次実施計画）	施策	従事者数	会計区分	R元予算(円) R元決算(円)	R2予算(円) R2決算(円)	何・誰に対して どう働きかけた結果 どうなったか(生まれ 対象) (手段・方法) れた成果・効果)	事務事業の指標	R2目標値	R2実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止
1	耐震補強及び施設改修事業(小和田公民館)	4	0.18	一般	0 0	21,780,000 20,570,000	予定どおり、設計業務を委託し、利用者等から寄せられた意見を関係課と協議をし、可能な範囲で設計に反映した。	耐震改修及び施設改修の進捗	耐震改修及び施設改修工事の実施	予定どおり	S	増加		
2	公民館利用者活動支援事業(公民館)	4	1.66	一般	8,802,000 8,606,903	9,340,000 8,454,536	コロナ禍において、利用者の安全確保を優先すべく、利用制限等を定めたガイドラインを基に感染防止対策を講じて施設の運営を行うことができた。	利用件数(年間)	3,750件	1,266件	C	変動なし	●	
3	社会的要請課題をテーマとした事業(公民館)	3	0.62	一般	71,000 39,600	5,000 5,000	対面式による講座の代替としてオンラインによる講座や動画配信を実施し、地域課題解決に向けた学びの機会の提供に寄与した。	事業数	10事業	1事業(オンライン講座18人参加)	C	変動なし		
4	子ども事業(公民館)	2	0.71	一般	100,000 90,000	100,000 100,000	対面式による講座の代替としてオンラインによる講座や動画配信を実施し、楽しみながら学べる体験型学習の提供に寄与した。	事業数	14事業	3事業(動画配信2,617回再生)	C	変動なし		

5	家庭教育支援関連事業（公民館）	1	0.40	一般	170,000 163,100	54,000 53,150	対面式による講座の代替としてオンラインによる講座や動画配信を実施し、子育て中の保護者が保育をしながら気軽に参加し、安心して受講できる機会の提供に寄与した。	事業数	6事業	7事業（動画配信1,677回再生）	S	変動なし		
6	地域交流事業（公民館）	4	0.41	一般	313,000 313,000	71,000 70,891	対面式による講座の代替として動画配信の実施や作品展示を行い、新たな形による地域交流の機会や地域教育力向上に寄与した。	事業数	4事業	5事業（動画配信7,520回再生）	S	変動なし	●	
7	学習成果の還元事業（公民館）	4	0.56	一般	276,000 143,741	0 0	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の影響により「公民館まつり」や「音楽祭」等が中止になり、その代替として利用団体・サークルの活動の様子を撮影した動画の上映や館内での作品展示を行うなど学習成果を発表する機会の創出に寄与した。	事業数	3事業	0事業	C	減少	●	
8	公民館ふれあい事業（公民館）	4	0.45	一般	103,000 103,000	0 0	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の影響により、予定していた対面式による講座が実施できなかった。	事業数	5事業	0事業	Z	減少	●	
9	次世代育成ネットワーク事業（公民館）	4	0.09	一般	0 0	0 0	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の影響により、次世代を担う若年層に公民館を知ってもらう機会の創出のための、インターンシップ生の受入れや「公民館まつり」への中学生のボランティア受け入れ等は実施できなかった。	事業数	2事業	0事業	Z	減少		
10	学習情報の提供（公民館）	4	0.20	一般	15,000 15,000	15,000 13,640	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の影響により、発行回数が減少したものの、既存の広報媒体に加え、公民館の講座情報や公民館報を発行し、更にメール配信やSNSによる情報発信を行い、公民館事業をPRし公民館周知の一助とすることができた。	公民館報等の情報紙の発行回数	5回	3回（公民館だより1回、情報誌こわだ2回）	C	変動なし	●	
合計					R2予算（円） R2決算（円）	31,365,000 29,267,217								

3 実施計画事業（政策的事業（政策的事業のない課はいは一般管理事務等））の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析 (Check) / 今後の展望 (Action)	
〈5公民館としての取り組みと成果〉 子育てに悩みを持つ母親が一人で悩まないように産後体操を通じて、子育て中の親の不安や閉塞感の解消に努め、同時に年齢の近い子どもを育てる仲間を持つことでの情報交換をしたり、悩みを分かち合うことで、「孤独な子育て」を回避することを目的とする「スマイリングままサロン」について、例年は、各公民館で開催していたが、コロナ禍の中、参加者が集まっていた開催が困難なため、Zoomを使ったオンライン講座により5館協働により、3月に3回にわたり開催した。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、当面は地域住民の活動や公民館の事業に影響を及ぼすことが想定されるなかで、引き続き5館が連携を密に図り、工夫を凝らしながら社会教育の推進に努めていく。また、コロナ禍においても社会教育の灯を絶やさぬため、公民館5館のみならず、社会教育施設（図書館、体験学習センター、青少年会館を含め）の職員を対象に、Zoomを使ったオンライン講座を実施するための基礎知識、実際の操作を習得するための研修を実施しスキルアップを図るとともに、市民対象のオンライン講座を開催した。	
〈小和田公民館の取り組みと成果〉 小和田公民館の政策的事業数は10事業である。これらの指標の達成度及び事業の実施効果については、「S」が3「C」が5「Z」が2となっている。「No.2公民館利用者活動支援事業（公民館）」は、新型コロナウイルス感染症対策のため、一部事業を中止にしたことや、休館としたために目標値には達しなかったためC評価とし、「No.3社会的要請課題をテーマとした事業」及び「No.4子ども事業（公民館）」は、当初予定していた対面式の事業はできなかったが、動画配信で学習の機会を提供し、一定の再生回数があったことからC評価とした。「No.5家庭教育支援関連事業」及び「No.6地域交流事業（公民館）」は、当初予定していた対面式の事業はできなかったが、目標値を上回る数の動画配信をし、一定の再生回数があったことからA評価とした。「No.8公民館ふれあい事業（公民館）」及び「No.9次世代育成ネットワーク事業（公民館）」については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施しなかったことから、Z評価とした。「No.10学習情報の提供」は、目標値に達しなかったが、必要な情報は提供できたことからC評価とした。全体として、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から4月2日から6月30日まで休館、及び4月2日から8月31日まで夜間の貸し室休止、また、対面式の主催事業を中止にしたことにより、事業数や参加者数そして利用者数に大きな影響が及んだ。小和田公民館は令和3年度に6月から3月中旬まで耐震補強及び施設改修工事を予定しているため、利用者数や事業数は一時的に大きく減少することになるが、改修後も引き続き、利用者のニーズを捉えながら、事業を計画していきたい。 時間外勤務については、総時間数で0時間となっており、前年度の総時間88時間一人当たり月平均7.3時間と比べ大幅な減となった。管理職以外に常勤職員が一人という公民館の特性から、主に庁内業務（文書事務や各種説明会などへの出席に係る部分等）に費やす割合が多いと感じられるところであるが、引き続き事務の効率化及び館内の協力体制により、時間外勤務を極力させないようにする。	

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は－)	事務改善の内容
2	社会的要請課題をテーマとした事業	令和3年度事業実施方針に基づき事業を展開していくうえで、より効率的な事業進捗を図ることが必要であると考え、社会的要請課題をテーマとした事業・地域交流事業・公民館ふれあい事業を地域課題解決等事業、学習成果の還元事業と学習情報の提供を学習成果活用・学習情報提供事業にそれぞれまとめる。
5	地域交流事業	
6	学習成果の還元事業	
7	公民館ふれあい事業	
9	学習情報の提供	

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は－)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
	－	第4次実施計画作成の際、適切に事業の統合等を図っており、現時点において事業の休・廃止は困難であるが、引き続き効果的、効率的な事業運営に努める。